



令和4年度

奈良県保健研究センター一年報

No.57

2022

ANNUAL REPORT OF
NARA PREFECTURE INSTITUTE
OF HEALTH

奈良県保健研究センター

はじめに

平素は奈良県保健研究センターの業務の推進にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当センターは、県民生活における保健衛生面の安心・安全を確保するために、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の収集・解析・提供を中心とした各種業務を実施しております。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、起源株からアルファ株、デルタ株、オミクロン株と流行する変異株が移り変わり、オミクロン株からは同一変異株内での系統別変異・淘汰を繰り返していますが、感染症としての扱いは2類感染症相当から5類感染症の定点把握疾患に移行され、「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の改正に伴い、次のパンデミックに備えた健康危機対処計画（感染症）の策定が求められています。

当センターでは、国立感染症研究所や他の地方衛生研究所と連携協力し、次世代シーケンサーを用いた新型コロナウイルスの全ゲノム解析体制を拡充し、新たな変異株の発生やその発生動向の監視強化および知識の習得に努めております。

理化学分野では、検査項目の拡充として植物性自然毒の迅速分析方法について検討、新しい検査機器を導入し、検査項目、知識の拡大に努めてまいりました。

細菌分野では、職員の教育訓練（実技）に注力しつつ、薬剤耐性菌の県内での発生状況や環境中の状況との関連性について引き続き調査をすすめてまいります。

今後とも、検査技術の維持・向上や必要性の高い調査研究等に努めていきたいと考えております。

この度、令和4年度に実施した試験検査、精度管理、調査研究等の業務を取りまとめ、年報が出来上がりましたのでお届け致します。

今後とも、関係各位のご理解、ご支援及びご協力を賜りますようお願い致します。

令和5年10月

奈良県保健研究センター
所長 東條 幸一

目 次

第1章 総 説

1. 沿 革	1
2. 組 織	1
1) 機構と事務分掌	1
2) 職員構成	2
3) 人事記録	2
4) 職員名簿	3
3. 施 設	4
1) 土 地	4
2) 建 物	4
3) 保健研究センター庁舎配置図	5
4. 新規購入備品	6
5. 予算及び決算	6
6. 企画情報関連	8
1) 職員の出席した学会，研究会，講習会，研修会等	8
2) 施設見学	10
3) 保健研究センター職員を講師とする講演会，技術・研修指導	10
4) 保健研究センター研究発表会	10
5) 保健研究センターホームページによる情報提供	11
6) 奈良県公衆衛生学会への協力	11
7) 信頼性確保業務	11
8) 健康危機事象模擬訓練	13
9) 外部評価制度	13

第2章 試験・検査概況

食品担当	15
細菌担当	19
ウイルス・疫学情報担当	25

第3章 調査研究・報告

第1節 原 著

1. 食中毒の原因となる有毒植物および毒キノコの遺伝子検査法の拡充 中田千恵子・長尾 舞・西山隆之・安藤尚子・上眞佐美	31
2. 加工食品に対する総アフラトキシン試験法の改良 竹田依加・上床知佐奈・中永絵理・田邊純子・安藤尚子・上眞佐美	37

3. 下水処理場流入水における VRE 実態調査及び臨床分離株との比較解析	井ノ上美紅・築山結衣・井上健太郎・井上ゆみ子・内田美枝	44
--	-----------------------------	----

第2節 報告

1. 奈良県における小児の結核感染の推移	内田美枝・森村実加	51
2. 奈良県における腸管出血性大腸菌の <i>stx</i> サブタイプと臨床症状の関連について	築山結衣・井ノ上美紅・井上健太郎・井上ゆみ子・内田美枝	55
3. 当センターにおける新型コロナウイルス全ゲノム解析（2022年4月～2023年3月）	松浦侑輝・千葉翔子・中野 守・山本紗也・荒堀康史・山崎聖子	58
4. 奈良県における感染症発生動向調査による患者発生状況：令和4年（2022年）	美並衣織・山本紗也・松浦侑輝・千葉翔子・中野 守・荒堀康史・山崎聖子	63

第3節 研究発表の要旨		71
-------------------	--	----

奈良県保健研究センター年報投稿規定		78
-------------------------	--	----